

令和5年度実績報告について

1. 地域における子育て支援の充実

(1) 地域における子ども・子育て支援サービスの充実

① 地域子育て拠点事業

つどいの広場 3 か所、地域子育て支援センター1 か所で実施した。

	利用人数（人）
令和元年度	18,057
令和2年度	8,830
令和3年度	11,045
令和4年度	12,205
令和5年度	12,287

【関係する課】 こども未来課

② ファミリー・サポート・センター事業

働く人の仕事と育児の両立を図るため、育児の相互援助活動を行う会員（利用会員、協力会員）を組織し、コーディネートする事業を合志市社会福祉協議会へ委託し実施した。

	利用会員数 （人）	協力会員数 （人）	利用件数 （件）
令和元年度	1,194	451	1,783
令和2年度	1,212	445	1,888
令和3年度	1,223	464	1,734
令和4年度	1,230	482	1,945
令和5年度	1,260	500	1,648

【関係する課】 こども未来課

③一時預かり事業（在園児対象型を除く）

一時的に保育が必要な児童を半日～1日預かる一時保育事業を NPO 法人へ委託により実施した。

	開所日数（日）	延べ利用者数 （人）
令和元年度	324	1,506
令和2年度	358	677
令和3年度	359	779
令和4年度	357	1,175
令和5年度	360	1,196

【関係する課】 こども未来課

④病児保育事業

合志市社会福祉協議会へ委託し、ふれあい館の「すこやか」と輝き館の「ひかり」の2箇所を実施した。

	登録者数（人）	利用者数（人）
令和元年度	3,426	712
令和2年度	3,640	286
令和3年度	3,860	332
令和4年度	4,030	80
令和5年度	4,327	494

【関係する課】 こども未来課

⑤ 子育て短期支援事業（ショートステイ）

保護者の疾病、経済的な理由による緊急一時的な保護を児童養護施設等 7 施設に委託し実施した。

	保護した児童数（人）
令和元年度	6
令和2年度	0
令和3年度	4
令和4年度	1
令和5年度	1

【関係する課】 こども未来課

⑥ 子育て短期支援事業（トワイライトステイ）

夜間、休日等に児童を養育することが困難な場合に保護を児童養護施設等 7 施設に委託し実施した。

	保護した児童数（人）
令和元年度	0
令和2年度	0
令和3年度	0
令和4年度	0
令和5年度	0

【関係する課】 こども未来課

⑦放課後児童健全育成事業（放課後児童クラブ）

市内小学生児童の放課後の預かりを目的に、一般社団法人等に委託して実施した。

	入所児童数（人）								
	合志南小	南ヶ丘小	西合志南小	西合志東小	西合志中央小	合志楓の森小	社会福祉協議会	学校法人第一学園	合計
令和元年度	213	122	137	298	165	—	73	18	1,026
令和2年度	202	119	134	292	168	—	61	11	987
令和3年度	126	111	143	225	173	134	60	12	984
令和4年度	139	110	134	217	169	158	75	—	1,002
令和5年度	163	110	135	241	210	158	83	—	1,100

【関係する課】 こども未来課

（２）保育サービスの充実

①利用者支援事業

○特定型利用者支援（保育コンシェルジュ）

子育て支援課の窓口配置し、保育施設を利用したい保護者からの相談に応じて、必要な情報の提供や助言を行った。また、在園児の保護者からの相談に応じて、認可保育施設を訪問し、保育環境についての助言を行った。

○母子保健型利用者支援

令和2年10月に「子育て世代包括支援センター」を健康づくり推進課に設置し、保健師が全ての妊産婦等の状況を継続的に把握し、個別訪問や窓口での相談を受けるなど、きめ細かい支援を実施した。

【関係する課】 こども未来課、こども家庭課

② 保育サービスの拡充

	認可保育 施設数	定員	入所 児童数 (3/1 現在)	待機 児童 (4/1 現在)
令和元年度	29	2,393	2,626	40
令和2年度	30	2,513	2,672	14
令和3年度	31	2,618	2,731	2
令和4年度	31	2,628	2,720	4
令和5年度	31	2,628	2,691	2

【関係する課】 こども未来課

③ 時間外保育（延長保育）事業

合志市内の認可保育施設を利用する児童の保護者が、標準時間（11 時間）の保育でも不足する場合に、保育時間を延長し預けた。

	延べ利用者数（人）
令和元年度	31,385
令和2年度	25,665
令和3年度	23,279
令和4年度	25,647
令和5年度	22,821

【関係する課】 こども未来課

(3) 子どもの健全育成

① 児童館運営の充実

泉ヶ丘児童館・東児童館は市直営、西児童館はふれあい館の一部に属し、合志市社会福祉協議会に事業運営を委託した。

	延べ利用者数（人）
令和元年度	37,382
令和2年度	12,351
令和3年度	16,111
令和4年度	20,384
令和5年度	26,360

【関係する課】 こども未来課

2. 子どもと母親の健康の確保および増進

(1) 子どもと母親の健康の確保

① 母子健康手帳交付時の情報提供の充実

健康づくり推進課の窓口にて保健師・管理栄養士等が母子健康手帳を交付した。

	母子健康手帳交付数 (人)
令和元年度	717
令和2年度	631
令和3年度	645
令和4年度	613
令和5年度	588

【関係する課】 こども家庭課

② 妊婦健診事業および妊婦歯科健診の啓発

	妊婦健診延べ 受診者(人)	妊婦歯科健診 受診者(人)	妊婦歯科健診 受診率(%)
令和元年度	7,920	274	37.7
令和2年度	7,266	230	38.9
令和3年度	6,894	201	33.1
令和4年度	6,620	226	40.0
令和5年度	6,509	202	35.7

【関係する課】 こども家庭課

③妊婦・乳幼児訪問事業

妊産婦及び乳児（生後 2 カ月児前後）の家庭を保健師や助産師が訪問した。

	妊婦訪問数 (件)	乳児訪問数 (件)
令和元年度	47	540
令和2年度	35	632
令和3年度	35	537
令和4年度	25	558
令和5年度	30	525

【関係する課】 こども家庭課

④乳幼児健診における取り組みの充実

4 カ月、7 カ月、1 歳 6 カ月および 3 歳児の健診を行い、成長発達の確認を
するとともに、育児の不安解消や、病気や障害を早期に発見し、適切な治療
や療育等につなげました。

	4 カ月健診 受診率 (%)	7 カ月健診 受診率 (%)	1 歳 6 カ月 健診受診率 (%)	3 歳児健診 受診率 (%)
令和元年度	98.2	96.9	97.7	99.7
令和2年度	95.4	100.0	97.4	99.2
令和3年度	97.7	97.3	98.3	97.4
令和4年度	98.9	98.5	98.5	98.7
令和5年度	98.6	95.9	100.0	98.1

【関係する課】 こども家庭課

⑤乳幼児のむし歯予防の推進

1歳6ヵ月児健診と3歳児健診の時にフッ化物塗布を実施した。また、保育所等でフッ化物洗口を実施した。

	むし歯保有率 (1歳6ヵ月 児健診時)	むし歯保有率 (3歳児健診 時)	フッ化物洗口 実施園数 (施設)	フッ化物洗口 実施率 (%)
令和元年度	1.09	9.58	19	97.3
令和2年度	1.32	10.72	19	98.6
令和3年度	1.17	8.89	18	98.1
令和4年度	0.44	8.29	15	98.8
令和5年度	0.47	8.47	18	96.6

【関係する課】 こども家庭課

⑥感染症予防の推進

予防接種法に基づく定期接種を実施した。

	接種件数（定期接種のみ）
令和元年度	16,674
令和2年度	18,347
令和3年度	17,122
令和4年度	17,823
令和5年度	18,156

【関係する課】 こども家庭課

⑦心理相談の充実

乳幼児の発達について、心理相談員や臨床心理士が面接を行い、発達を促すアドバイスや、発達検査を実施し発達の確認を実施した。

	回数	延べ人数
令和元年度	146	461
令和2年度	148	440
令和3年度	151	472
令和4年度	158	469
令和5年度	161	452

【関係する課】 こども家庭課

⑧健康育児相談事業

月1回ヴィーブルにて育児相談を実施した。

	実施回数	対象者
令和元年度	11	354
令和2年度	0	0
令和3年度	9	143
令和4年度	12	213
令和5年度	12	218

【関係する課】 こども家庭課

⑨こども医療費助成制度の充実

【現状および利用状況等】

	受給資格者数		助成金額（円）	
	小学生まで	中学生	小学生まで	中学生
令和元年度	10,112	2,175	259,200,896	40,354,950
令和2年度	10,190	2,238	240,993,500	41,212,770
令和3年度	10,237	2,343	267,830,631	42,546,537
令和4年度	10,189	2,389	287,291,440	45,083,270
令和5年度	10,145	2,423	328,779,958	67,950,809

【担当課】 こども未来課

(2) 思春期保健対策の充実

① 性に関する正しい知識の普及

各小・中学校は、保健体育や性教育の授業等で性に関する正しい知識の普及と命の重さ、自分の命と相手の命を大切にする心を育てることに努めた。

性に関する正しい知識の普及については、各学校が立てた年間指導計画に沿って、各教科・領域等を通して適切に指導を行った。授業のなかでは、命の尊さについても伝えていくとともに、年齢に応じた授業内容を工夫した。

【関係する課】 学校教育課

② 喫煙や薬物の害についての啓発

年間計画に従って、喫煙や薬害についてすべての小・中学校で毎年指導を行った。児童生徒だけでなく、保護者も対象として講話等を行い、喫煙や危険ドラッグ等の薬物の健康面や社会生活上の害について啓発し、単に知識として理解するだけでなく、実際に自分が誘われるときに NO と言えることを目標に指導を行っている。

【関係する課】 学校教育課

③ 情報教育の充実

令和3年度より市内小中学校に在籍する児童生徒へ、一人に一台タブレット端末を配布した。タブレット端末は、授業での調べ学習をはじめ、欠席や出席停止時のオンラインでの授業配信や、健康観察等に活用している。

活用においては、タブレット端末を正しく使用することが必要であり、児童生徒、教職員、保護者等の理解と協力を得ながら情報教育の充実を図っている。

【関係する課】 学校教育課

④ スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー

による相談支援の充実

市内小・中学校に県のスクールカウンセラーが配置されていると同時に、合志市では独自に教育相談員も配置をしている。学校の児童生徒だけでなく保護者も相談がしやすい環境を整えている。

令和５年度スクールカウンセラーや教育相談等を受けた本人及び関係者の
実人数：５１８人

学校や家庭での生活において課題を抱える児童生徒に対しては、各学校担当のスクールソーシャルワーカーが、その家庭やそれらを取り巻く環境に介入し、調整しながら、支援する取り組みの充実を図っている。

令和５年度スクールソーシャルワーカー相談延べ件数：７９５件

（合志市で配置しているスクールソーシャルワーカーへの相談件数のみ）

【関係する課】 学校教育課

⑤ 適応指導教室の充実

中学校区に一カ所ずつ適応指導教室を設置している。

令和５年度利用者：小学生 ６１人、中学生 ７８人（毎月の利用者の延べ人数）

【関係する課】 学校教育課

3. 子どもの健やかな成長のための教育環境の整備

(1) 確かな学力の向上

① 指導員等の配置による学校教育の充実

令和5年度配置状況

小学校英語指導講師	: 1 人
学校教育活動指導員	: 中学校 8 人、小学校 28 人
教育介護補助員	: 39 人
外国語指導助手 (A L T)	: 3 人
I C T 支援員	: 4 人

【関係する課】 学校教育課

② 教職員の研究・研修による学校教育の充実

職員経験5年以下（初任者は除く）又は希望する教職員（臨採を含む）に対して、校長経験者等を学校に派遣し、授業を参観し、指導助言を行うことで授業力及び教育的実践力の向上を図った。

小中一貫教育の発展向上を図るため専門知識を要するコーディネーターが学校間の連携について指導・助言を行った。

各小中学校の研究主任を対象とした学力向上員会（年4回）、毎月開催の教務主任会議を中心に、情報教育担当者会（年5回）、英語担当者会（年2回）、ことば教育担当者会等の担当者会を通して、現状や対策について、それぞれの立場からの検討の場を設けた。

令和5年度（2023年度）全国学力・学習状況調査（R5.4実施）の平均正答率は、小学校の国語では熊本県平均と同等、全国平均をわずかではあるが下回った。算数では、県・全国平均を下回った。

中学校の国語では県平均と同等、全国平均をやや下回った。数学は県平均と同等、全国平均を下回る結果であった。英語は県平均を上回り、全国平均をやや下回る結果であった。

【関係する課】 学校教育課

③市標準学力調査の実施

令和4年度から実施している市標準学力調査（CRT）の結果は、小学校では、3年国語、6年社会で全国平均を下回ったが、他の学年・教科では全国平均と同程度もしくは上回った。

中学校では2年の数学と英語で全国平均を下回ったが、他の学年・教科では全国平均と同等もしくは上回った。

【関係する課】 学校教育課

④中学校進路指導対策支援の充実

進路指導については、キャリア教育の視点をもって取り組んでいかなければ進路保障、生き方保障につながらない。そのため、小学校からキャリアパスポートを活用して、継続的なキャリア教育の視点に立って教科や領域の指導を行っている。

すべての教科および領域の指導においてキャリア教育の視点をもって指導を進めた。各学校での研究を進めるうえでもキャリア教育の視点に立った研究を推進した。

中学校においては職場体験学習を実施した。体験を通して働くことの意義や喜び、苦労を学びながら自分自身の生き方を考える機会となるように指導した。また、進路指導については具体的に進路決定のために必要な知識と計画的に学習を進めるための方法を指導している。奨学金の申請については、自分自身で考えるべきこととして丁寧な説明に心がけて取り組んでいる。

中学校進路指導対策支援補助金

市内中学校で実施される、中学3年生の進学、就職に係る進路保障対策のための事業（受験手続き・引率等）に対する経費を助成した。

（令和5年度補助額：391千円）

【関係する課】 学校教育課

(2) 豊かなこころの育成

① 本を通した豊かなこころの育成の推進

乳幼児期から歌や手遊びを交えた絵本の読み聞かせを行っている。市内各所を巡回し図書の貸し出しや配本を行っている。

子どもたちの豊かな感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにしたり、情報活用能力や読解力を向上させるため、小中学校へ司書を配置し、学校図書充実させた。

【関係する課】 生涯学習課、学校教育課

② 学校教育における豊かなこころの育成の推進

○水俣に学ぶ肥後っ子教室助成事業

実施校 8校 事業総額 2,312,880円 事業内容：水俣環境センターを見学し、公害・環境問題の原点である「水俣」を学ぶことにより、体験を通して環境問題に対する意識を高める。

【関係する課】 学校教育課

(3) 健やかな体の育成

① 小中学校における健康管理の推進

○市特別職非常勤職員として、学校医を29名、学校歯科医を21名、学校薬剤師を9名委嘱し、疾病等の早期発見や早期治療に努め、児童生徒と教職員の健康の保持増進を推進している。また、市一般職非常勤職員として、フッ化物洗口実施補助員を3名任用し、むし歯予防対策として、児童生徒の歯磨き指導に加え、フッ化物洗口事業を実施した。

【関係する課】 学校教育課

②学校給食の提供と食育の推進

○合志市小・中学校では、完全給食を実施している。

○自校方式（8校7施設/旧西合志町、合志楓の森小・中）、センター方式（4校分1施設/旧合志町）で調理をし、安全で安心なおいしい給食を安定的に提供していく。また、学校では児童生徒が給食をとおして、食べ物に関する知識と食生活習慣を身につけることができるようにする。

○自校方式 8校

小学校 5校：提供数 3,716 人—小学生+教職員等

中学校 3校：提供数 1,750 人—中学生+教職員等

○センター方式 4校

小学校 3校：提供数 1,769 人—小学生+教職員等

中学校 1校：提供数 820 人—中学生+教職員等

センター：提供数 38 人—センター職員

（合計：8,093 人）

○年間給食実施予定回数 小学校 191 回・中学校 191 回

【関係する課】 学校教育課

③部活動による健やかな体の育成の推進

○合志市立中学校における生徒の心身共に健全な育成とスポーツや文化の普及振興を図るため、中学校の部活動に対して補助金を交付した。また、合志市立中学校の部活動の部員及び引率する指導員が学校教育活動の一環として県大会以上の各種大会に出場する場合にその経費負担の軽減を図るため補助金を交付した。

（令和5年度実績）

部活動奨励補助金事業 4 中学校 53 部 補助金総額 3,584 千円

各種大会出場助成事業 4 中学校 29 部 補助金総額 3,470 千円

○上記以外の 18 歳以下の方に対しては、人材育成を目的に、スポーツや文化活動で各種大会に参加した場合に経費の一部を補助金として交付しています。

（令和5年度実績）

合志市ふるさと創生基金補助金

申請件数：317 件（小学生 87 件、中学生 45 件）補助金総額：2,460 千円

【関係する課】 学校教育課、企画課

④小中学校スポーツテストの充実

小中学校児童生徒のスポーツテストを実施し、データ分析処理を行い、個々の児童生徒の体力を把握している。

【関係する課】 学校教育課

(4) 信頼される学校づくり

①学校評議員の設置

○市特別職非常勤職員として、各学校 3 名ずつ、計 36 名の学校評議員を委嘱している。

○学校評議員は、校長の学校運営に関する権限と責任を前提として、校長の求めに応じ、一人一人の責任において学校運営に関する意見を述べ、学校、家庭及び地域の連携及び協力を推進することにより、児童生徒の健やかな成長を図っている。

【関係する課】 学校教育課

②日本スポーツ振興センター共済への加入

児童生徒の学校内における災害等への対応として、日本スポーツ振興センター共済へ加入し、学校安全の普及充実とともに、必要な災害給付を行っている。

	給付件数（件）	給付金年間総額 （千円）
令和元年度	735	6,723
令和2年度	631	3,942
令和3年度	619	5,628
令和4年度	728	6,420
令和5年度	875	6,262

【関係する課】 学校教育課

③教育振興用資器財購入とパソコンの整備の推進

○文部科学省の「GIGA スクール構想」の実現のため、学習用タブレット端末、校務用端末、電子黒板の整備、校内ネットワーク構築を行っている。
また、家庭学習や校外学習等でも活用できるように通信機器を整備し、様々な場面での端末の利活用を促進することにより、個別最適な学びと協働的な学びの充実を図っている。

【関係する課】 学校教育課

④学校施設の整備の促進

○児童生徒数の増加により教室の不足が生じないように、校舎の増築及び建築を行っている。また、災害や老朽化のため修理が必要な場合には迅速に対応できるよう努めている。

【関係する課】 学校教育課

⑤プール監視安全管理の推進

○夏季休業中の合志市立小学校プール開放において、児童が安全にプールを利用できるようにPTAでプール監視を行う際、それに伴う経費助成のため、1校当たり142,500円を限度として補助金を交付する。

【関係する課】 学校教育課

⑥スクールバスの運行

○合志小学校で通学距離が遠距離の児童の便益のため、市所有のスクールバス（運転手：市職員）を運行している。また、西合志中央小学校においても、通学距離が2.5 km以上の児童の便益のため、業者委託し、スクールバスを運行している。

（令和5年度実績）

委託先：九州産交バス株式会社 送迎日数 200 日 遠隔地児童 186 人
事業費 7,920 千円

【関係する課】 学校教育課

(5) 幼児教育の充実

① 幼児教育機能の向上

- 保育所や幼稚園、認定こども園、地域型保育事業施設等では、それぞれが有する機能を活かしながら、幼児教育のさらなる充実を図っていくとともに、地域の関係行政機関、団体、地域組織とのネットワークを構築し、そこでの機能が幼児教育の充実に活かされるよう支援している。
- 幼児教育の充実を図るための情報交換や情報提供の場として、園長会や、保育所や幼稚園、認定こども園、地域型保育事業施設等ならびに小学校、中学校の連携のための会議等を定期的に行っている。

【関係する課】 こども未来課、学校教育課

② 一時預かり事業（在幼稚園児対象型）

- 幼稚園及び認定こども園で実施しており、事業実施の園に対しての補助を行っている。
（令和5年度実績） 延べ対象 17,282 人 補助金総額 7,600 千円

【関係する課】 こども未来課

③ 相談・情報提供の充実

（学校教育課）

- 教育委員会としても、就学前の児童の状況を把握するために幼稚園や保育園の情報が不可欠となっている。入学当初から特別支援学校や特別支援学級等を希望する児童や、保護者に対して教育相談の場を設けるためのきっかけづくりとなっている。また事前に保育園・幼稚園に気になるお子さんのアンケート（身体状況等）を取ることで、スムーズに就学相談を行う体制を整えている。
- 気になるお子さん対象のアンケート調査
子育て支援課から提供された施設・事業所利用状況一覧表をもとに各保育園・幼稚園でアンケート調査を実施
令和5年度のアンケート対象者 749 人

（健康づくり推進課）

保護者に対する相談や情報提供を行い、相談対応時に必要に応じて関係機関と連携をとり、各機関に繋いでいる。

【関係する課】 こども未来課、学校教育課、こども家庭課

④ 保育所や幼稚園、認定こども園、地域型保育事業施設等、ならびに小学校、 中学校の連携強化

- 合志市幼保・小・中連携協議会を軸に、相互の学校や園が協力しながら連携を図り、協働で市内の子供たちの教育や支援を進めている（幼保・小・中連携協議会：年間 1 回開催、各中学校区連携協議会：年間 3 回開催）
- 中学校区ごとに「育ちのものさし」を作成し、校区の保護者に配付している。
- 「メディアコントロールデー」を毎月 15 日に設定し、各学校で家庭への周知を図ると同時に、同日を「ことば教育の日」として家族の対話を大事にする日として周知を図っている。

【関係する課】 学校教育課

（６）家庭や地域の教育力の向上

① 家庭教育学級の支援

- 家庭教育向上を図るため、市内保育施設の子どもの保護者で組織された団体の経費に対して補助金を交付した。
（令和５年度実績）保育施設 11 団体へ補助金総額 275,000 円を交付。

【関係する課】 生涯学習課

②図書館蔵書の整備充実

○第3次子どもの読書活動推進計画に基づき、児童書の蔵書数を充実させ、かつ、バリアフリーの観点から、点字絵本や、大活字本等も収集予定。

（令和5年度図書館利用状況）

蔵書冊数

西合志 213,257 冊、ヴィーブル 107,391 冊、泉ヶ丘 20,062 冊

貸出状況

西合志 283,129 冊、ヴィーブル 84,117 冊、泉ヶ丘 71,173 冊、移動 29,952 冊

【関係する課】生涯学習課

③子育て家族に対する相談支援の充実

○女性・子ども支援課に家庭児童相談員を配置し、電話相談や面接相談、訪問等を行い、関係機関と連携しながら子育て家族に対する支援を行った。

	児童相談人数
令和元年度	252
令和2年度	337
令和3年度	326
令和4年度	429
令和5年度	416

○健康づくり推進課では、健康育児相談時以外も随時保健師や栄養士等による子育て等の相談を実施した。電話相談や面接相談、訪問等を行い、子育て等に対する支援を行った。

【関係する課】こども家庭課

④教育相談の充実

合志市教育委員会より市内小中学校全てに教育相談員を配置し、熊本県派遣のスクールカウンセラーとともに学校や保護者の抱える様々な問題に対応できるよう努めた。

令和5年度合志市教育相談員：6名 対応件数：458件

【関係する課】学校教育課

⑤ 地域住民の子育てへの参加の意識啓発

○就園前の親子が気軽に立ち寄れる、「地域のつどいの場」である子育てサロンを多くのボランティアの協力により、定期的に 7 カ所で実施した。ファミリーサポートセンター事業を実施し、地域の協力会員による育児の援助を行った。

【関係する課】 こども未来課

⑥ 地域学校協働活動の充実

○本市は、小中一貫教育を推進しており、中学校区に地域学校協働本部を設置。また、各小中学校に 1 名の推進員(中学校は統括推進員)を配置、各校の担当職員と連携を図っている。子どもたちが合志市に愛着と誇りを持ち、地域に貢献したいと考える人材を育てることを最終目標としている。

【関係する課】 生涯学習課

⑦ コミュニティスクールの支援

コミュニティスクール助成金として、各小中学校へ 95,000 円を上限として交付しています。

令和 5 年度補助金総額：648 千円

【関係する課】 学校教育課

⑧ 世代間交流の推進

地域の高齢者との交流については、保育施設や小学校の行事への招待や高齢者福祉施設への訪問を行い、世代間交流に取り組んでいる。

【関係する課】 こども未来課、学校教育課

⑨ 中学校での職場体験の充実

○市内の企業や団体で組織する合志市企業等連絡協議会（79社）の事業計画として、「市内中学生職場体験事業への協力」に取り組んでいる。利用状況については、市教育委員会に確認し、同協議会の総会において、会員企業の受け入れ状況について報告している。

【関係する課】 学校教育課、商工振興課

⑩ 農による教育活動の充実

○体験学習を通じて土に親しみ、農業を肌で感じてもらうことにより、自然環境の中で農地の果たす役割等を認識してもらうために小学校稲作体験事業を行っています。

○安全安心な野菜を学校給食に提供するための研修会、栽培講習会を行うために学校給食用野菜出荷組合活動支援事業を行っています。

○中学生の発育促進及び健康づくり・牛乳消費拡大を目的に中学校給食用牛乳補助事業（増量分の補助）を行っています。

	米作り活動を実施した学校数
令和元年度	2（合志小・西合志中央小）
令和2年度	2（合志小・西合志中央小）
令和3年度	2（合志小・西合志中央小）
令和4年度	2（合志小・西合志中央小）
令和5年度	2（合志小・西合志中央小）

【関係する課】 農政課

⑪ 総合型地域スポーツクラブの運営支援

○「いつでも どこでも いつまでもスポーツに親しもう」を合言葉に多目的、多世代で構成された会員で構成されている。競技志向やエンジョイ志向のサークル等様々なサークルがあり、皆さん楽しく活動されている。

令和5年度会員数：クラブこうし 735 人・一般社団法人ヴィーブル FUN クラブ 453 人

【関係する課】 生涯学習課

4. 子どもの安全確保と生活環境の整備

(1) 交通安全の推進

①交通安全の指導強化

19名の交通指導員を委嘱し、市が設定している安全安心の日や、春・秋及び年末年始の全国交通安全運動期間中の街頭指導、交通安全教室や市主催行事等での交通指導、交通指導員会議を行った。

令和5年度実績：幼保育園 10回 688人
小学校 24回 3,152人

計 34回 3,840人

【関係する課】 安全安心課

②シートベルト・チャイルドシート着用の推進

春・秋の全国交通安全運動期間にハンドプレートを使った交通安全啓発運動を行った。

【関係する課】 安全安心課

(2) 犯罪等の被害から守る活動の推進

①犯罪等に関する情報提供

○ゆっぴメールや教育委員会からの不審者情報等を市ホームページや防災メールで早急に情報提供している。

○警察や防犯協会からの啓発チラシ等を施設設置や各地区に配布し、情報提供を行った。

【関係する課】 安全安心課

②防犯に関する啓発活動の推進

○児童の下校に合わせ、防災行政無線で見守り放送を行っている。

○警察や防犯協会からの啓発チラシ等を施設設置や各地区に配布し、犯罪情勢・傾向・対策等の啓発を行っている。

【関係する課】 安全安心課

③防犯パトロールの推進

- セイフティーパトロール事業は、小・中学校の下校時間帯に自転車または徒歩による通学路の巡回警備を行い、児童・生徒の安全確保と不審者等による犯罪抑止を目的とする事業で、自主防犯組織のパトロールでは対応が困難な合志小、西合志第一小、西合志中央小の3小学校区の警備を行っている。原則月曜日から金曜日の14時30分から17時30分までを、3人のパトロール隊員によって3小学校区を計画どおり巡回している。
- 青少年育成市民会議において、青少年の非行防止・見守り・安全確保のため、児童生徒の登下校中や長期休暇に合わせてパトロールを行っている。同会議地域部会員84名を割振りし、令和5年度は11回のパトロールを実施した。

【関係する課】 学校教育課、生涯学習課

④防犯設備の整備

- 市内通学路等に設置しているLED防犯灯約800基を維持管理している。また、行政区が設置・管理する防犯灯へ補助金を交付し、防犯灯の整備を行っている。
- 令和元年度から、市内主要交差点及び通学路等を中心に見守りカメラの設置を進めており、令和5年度までに18か所23台を設置。また、防犯カメラ設置補助金制度を利用し、13行政区41台の防犯カメラが各区に設置されている。

【関係する課】 安全安心課

⑤「子ども110番の家」プレートの配布

- 子ども達からは登下校中などにおいてケガの応急処置やトイレ使用等の依頼があっている。
- 令和5年度末時点で、「子ども110番の家」協力者として144件が登録されており、子どもたちの安全・安心のためにご協力をいただいた。

【関係する課】 生涯学習課

⑥学校における防犯指導の推進

○毎年度、小学1年生の入学時に、民間企業から寄贈される防犯ブザーを配布し、児童生徒の安全確保に努めている。

令和5年度防犯ブザー配付数：860 個

【関係する課】 学校教育課

⑦合志市地区学校等警察連絡協議会の推進

○各小・中学校の校長および支援学校長と各学校の生徒指導担当、熊本北合志警察署の署員およびスクールサポーターを構成員とする合志市地区学校等警察連絡協議会を設置し、これを中学校区ごとに分割して、各校区の具体的な事案に対して取り組みを行っている。各学校にスクールサポーターが出向き、薬物乱用防止教室やスマホや携帯の取扱い方について指導等を行っている。

【関係する課】 学校教育課

⑧被害を受けた子どもに対する支援

○学校教育課主催のいじめ・不登校対策会議や合志市生徒指導ネットワーク会議に参加し、情報の共有に努めている。また虐待等を受けた児童に対して、児童相談所や学校等と連携するとともに、要保護児童対策地域協議会において、受理し支援にあたっている。

令和5年度被虐待児童人数 260 人

○犯罪等の被害については、警察との情報連携が不可欠であり、さまざまな機会をとらえて熊本北合志警察署と情報交換を行っている。何か事案があれば学校、学校教育課、および女性・子ども支援課と連携し、また、家族が犯罪に巻き込まれた児童生徒への対応については、警察と連携しアドバイスを得ながら対応する。

【関係する課】 学校教育課、こども家庭課

(3) 安心して外出できる環境の整備

① 安全な道路交通環境の整備

通学路の危険箇所について、関係団体と合同点検を実施し改善に努めた。また、歩道の新設並びに歩道の設置が難しい箇所には、カラー舗装の導入や路面標示を行うなど歩行者の安全性を図った。

【関係する課】 建設課

② 安全安心な公園施設の整備

本市には様々な規模の公園が整備されており、管理する都市公園数は230箇所（R5年度末現在）となった。現在、市民一人当たりの公園面積は9.9㎡で、都市公園法の目標水準10.0㎡と同程度である。

【関係する課】 都市計画課

③ 園庭・園舎の開放

保育所等において、随時、保護者からの依頼があれば見学にも対応した。また、地域の子どもとその保護者に対して、自主事業として子育て支援事業を実施し、育児相談や園庭・園舎を開放した。

【関係する課】 こども未来課

5. 男女共同参画とワークライフバランスの推進

(1) 男女協働参画の推進

①男女共同参画推進の啓発

男女共同参画に関する理解を深めるため、毎年、気づきうなずきフェスティバルの開催や啓発情報誌「いっぽ」を作成し、市ホームページへの掲載および男女共同参画推進懇話会委員の広報記事（男女共同参画推進懇話会便り）掲載を行い、啓発に努めた。

【関係する課】 総務課

②男女共同参画推進行動計画の推進

「第4次合志市男女共同参画推進行動計画 パートナースhipプラン・こうし」（R4～R8）に基づき、男女共同参画に関する現状や課題を踏まえ、社会環境の変化に対応するとともに、持続可能な地域づくりを担う取組の一つとして、一人ひとりの人権を尊重し、多様性を認め合い、誰もが個性や能力を十分に発揮し活躍することができる男女共同参画社会の実現を目指し、各分野において、様々な取組を進めた。

【関係する課】 総務課

(2) ワークライフバランスの推進

①ワークライフバランスのための広報・啓発、情報提供の充実

必要に応じて市商工会や市企業等連絡協議会に広報・啓発、情報提供等を実施した。

【関係する課】 総務課、商工振興課

6. 子どもの人権の尊重と

要保護児童へのきめ細かい対応の推進

(1) 児童虐待防止対策等の推進

①虐待防止ネットワークの構築強化

合志市要保護児童対策及び DV 防止対策等地域協議会について、女性・子ども支援課が調整機関として主催する、代表者会議及び実務者会議、また個別ケース検討会議を開催し、関係者の共通理解と連携の強化を図っている。

【関係する課】こども家庭課、福祉課、高齢者支援課

②養育支援訪問事業

母子健康手帳交付及び妊婦・乳児訪問等で把握した妊婦及び子どもとその保護者に対し、専門的相談支援（保健師・助産師が自宅を訪問）を実施。

	訪問件数（件）
令和元年度	157
令和2年度	201
令和3年度	174
令和4年度	165
令和5年度	152

【関係する課】こども家庭課

③虐待事例に対する支援

○女性・子ども支援課が、要保護児童対策及び DV 防止対策等地域協議会の調整機関として、事例内容により、支援対象児童等及びその家庭に関係する機関や施設の担当者を取りまとめ、随時個別ケース検討会議を行っている。そこで、各関係機関等の役割分担を行い、きめ細かい支援を実施している。健康づくり推進課においては、乳児訪問・乳幼児健診等での支援対象児やその家族の確認を行っている。

【関係する課】こども家庭課、福祉課、高齢者支援課

(2) ひとり親家庭等の自立支援の推進

①ひとり親家庭等への相談支援や情報提供の充実

女性・子ども支援課内に女性相談員及び母子・父子自立支援員を配置し、電話相談や面接相談を行い、必要な情報提供を行いながら支援を行っている。ひとり親家庭等に対する就労支援や経済的課題は、安心サポート合志と連携している。

【関係する課】こども家庭課、こども未来課

②生活支援や経済的支援の充実

父（母）親がいない児童あるいは父（母）親に重度障害がある児童を養育する母（父）親等に対して児童扶養手当を支給した。令和元年度に支給回数が年 3 回から 6 回に増えたことにより支給総額が増えている。

	受給資格者（人）	支給総額（円）
令和元年度	627	360,536,260
令和2年度	642	277,531,840
令和3年度	639	285,349,480
令和4年度	640	282,515,030
令和5年度	666	296,640,000

ひとり親家庭の医療費につき、一部負担金を支払った場合、その自己負担金の 2/3 を助成した。

	受給資格者（人）	支給総額（円）
令和元年度	721	12,382,196
令和2年度	725	13,947,614
令和3年度	725	13,182,330
令和4年度	620	12,914,052
令和5年度	702	11,386,334

就学援助費として、ひとり親家庭のみならず、経済的理由により就学が困難と認められる児童及び生徒又は入学予定者の保護者等に対し、義務教育の円滑な実施を資するため必要な費用を援助した。

令和5年度実績：認定者数 762 人 71,719 千円

【関係する課】こども未来課、学校教育課

(3) 障がいのある子どもへの支援の充実

①療育や相談支援の充実

○菊池圏域（菊池市・合志市・菊陽町・大津町）で巡回支援専門員を整備し、保育園や小中学校など要望のあった施設を訪問している。また個別支援・ケース会議、全体支援・子どもの行動観察等を実施した。

令和5年度実績：巡回箇所 68 箇所

（内訳 幼児：133 件、小学生：208 件、中高生：0 件）

○1 歳 6 カ月児・3 歳児健診や心理相談で児の発達確認や家族からの相談に応じ、療育機関の紹介をしています。

令和5年度実績：心理相談回数 161 回（延べ 452 人）

【関係する課】こども未来課、こども家庭課

②障害福祉サービス等の利用による支援の充実

利用希望者からの申請を受け、調査を行い障害児支援利用計画案により支給決定を行った。1 歳 6 カ月児・3 歳児健診や心理相談で児の発達確認や家族からの相談に応じ、児童発達支援事業の紹介をしている。

	通所延べ利用人数 (人)	相談支援 (人)
令和元年度	5,307	23
令和2年度	6,010	69
令和3年度	6,645	89
令和4年度	7,634	89
令和5年度	8,495	90

【関係する課】こども未来課、こども家庭課

③保育や教育的支援の充実

○障がいのある児童生徒一人ひとりの教育的ニーズに応じた教育を行うために、必要に応じた特別支援学級を設け、その中で、専門性を有した教育介護補助員を配置し、児童生徒の様々な障がいに対応することができる体制の中で教育を実施。

	特別支援学級在籍児童生徒数	
	小学校（人）	中学校（人）
令和元年度	231	80
令和2年度	238	77
令和3年度	252	116
令和4年度	284	144
令和5年度	302	153

○障がいのある子どもへの加配を行っている保育所等への補助を実施。

	障がい児入所人数 （人）	補助金額（千円）
令和元年度	36	23,866
令和2年度	36	21,862
令和3年度	31	21,462
令和4年度	36	23,418
令和5年度	32	22,449

○市内放課後児童クラブにおいて障がいのある児童を受入れる体制を整備することを目的に、放課後児童クラブ運営者に専門知識等を有する障害児対応支援員の配置を委託し実施。

	障がい児受入れ数 （人）	事業費（千円）
令和元年度	33	42,173
令和2年度	50	52,079
令和3年度	48	68,404
令和4年度	60	69,416
令和5年度	68	83,263

【関係する課】こども未来課、学校教育課

④経済的支援の充実

○特別児童扶養手当、障害児福祉手当は在宅の重度障がい児等に対して、申請を受け、審査・決定を行った。（所得制限有）

	特別児童扶養手当 （人）	福祉手当（人）
令和元年度	243	62
令和2年度	257	64
令和3年度	279	64
令和4年度	297	62
令和5年度	314	62

○特別支援学級に就学する児童及び生徒の保護者の経済的負担を軽減し、特別支援教育の普及奨励を図るため、その負担能力に応じ、特別支援学級への就学に要する経費に対し、就学奨励費を支給した。

	認定児童数（人）	認定生徒数（人）
令和元年度	198	59
令和2年度	208	63
令和3年度	193	90
令和4年度	211	109
令和5年度	214	117

【関係する課】福祉課、学校教育課

◇補足資料

合志市の年度ごとの出生数の推移

（単位：人）

平成 28	平成 29	平成 30	令和元	令和 2	令和 3	令和 4	令和 5
650	659	634	629	607	593	545	558